

平成21年8月14日  
三井生命保険株式会社

## 平成21年度第1四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 山本 幸央）の平成21年度第1四半期報告（平成21年4月1日～平成21年6月30日）の概況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細は、本日付ニュースリリース「平成21年度第1四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

### 【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

新契約年換算保険料は、総合保障型商品等の販売件数の増加に伴い、医療保障・生前給付保障等の第三分野が前年同期比8.4%増の35億円となりましたが、4月以降、銀行等における一時払変額保険商品の販売（以下「変額保険商品の窓販」）を休止したこともあり、前年同期比**25.9%減の74億円**となりました。

保有契約年換算保険料は、医療保障・生前給付保障等の第三分野が増加したものの、全体としては、前年度末比**1.2%減の5,928億円**となりました。

新契約高は、個人保険の販売件数が増加する一方で法人契約（事業保険）の減少等により1件当たりの保険金額が低下したこと、および変額保険商品の窓販を休止したこと等により、前年同期比**22.1%減の2,214億円**となりました。保有契約高は、前年度末比**2.3%減の34兆9,148億円**となっております。

### 【損益の状況】

保険料等収入は、変額保険商品の窓販休止に伴い一時払保険料が大幅に減少したことを主因として、前年同期比**18.2%減の1,558億円**となりました。

基礎利益は、金融環境の改善に伴い変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金が185億円戻入となったこと等により、前年同期比**100.1%増の224億円**となり、経常利益は同**82.9%増の103億円**、四半期純利益も同**1,083.9%増の75億円**となりました。

### 【主要指標の状況】

有価証券全体の含み損益は、前年度末から847億円改善の**519億円**となりました。

ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券の含み損益が前年度末から大幅に改善したことを主因として、前年度末から**107.1ポイント**上昇して**709.1%**となりました。また、実質純資産額についても、有価証券全体の含み損益の改善に伴い、前年度末比**31.3%増の3,948億円**となりました。

## 1. 契約の状況

### (1) 年換算保険料〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第1四半期	平成21年度 第1四半期	前年同期比
			増減率
新契約年換算保険料	100	74	▲ 25.9
うち医療保障・生前給付保障等	32	35	+ 8.4

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
保有契約年換算保険料	5,928	▲ 1.2	6,001
うち医療保障・生前給付保障等	1,196	+ 0.4	1,191

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
 2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。  
 3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

### (2) 新契約高、解約・失効高(率)〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第1四半期	平成21年度 第1四半期	前年同期比
			増減率
新契約高	2,843	2,214	▲ 22.1
解約・失効高	6,216	5,989	▲ 3.6
解約・失効率	1.59	1.69	+ 0.10 <sup>ポイント</sup>

- (注) 1. 新契約高は、新契約+転換純増の数値を表示しています。  
 2. 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

### (3) 保有契約高

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
個人保険+個人年金保険	349,148	▲ 2.3	357,217
団体保険	146,210	+ 0.4	145,697
団体年金保険	11,949	▲ 0.4	11,995

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
 2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

## 2. 損益の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第1四半期	平成21年度 第1四半期	前年同期比
			増減率
基礎収益	2,550	2,431	▲ 4.7
うち保険料等収入	1,904	1,558	▲ 18.2
基礎費用	2,438	2,206	▲ 9.5
基礎利益	112	224	+ 100.1
キャピタル損益	▲ 27	▲ 96	+ 254.0
臨時損益	▲ 28	▲ 24	▲ 12.8
経常利益	56	103	+ 82.9
特別利益	1	1	▲ 19.2
特別損失	8	6	▲ 26.8
契約者配当準備金繰入額	44	36	▲ 18.1
四半期純利益	6	75	+ 1,083.9

## 3. 主要指標の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
ソルベンシー・マージン比率	709.1	+ 107.1 <sup>ポイント</sup>	602.0
実質純資産額	3,948	+ 31.3	3,006
有価証券の含み損益(一般勘定)	519	—	▲ 327
総資産	74,228	+ 0.5	73,829

以上